

説 明 会 開 催 概 要 及 び 質 疑 等 要 旨

会議の名称	塩山地域中学校再編に関する地区説明会〔松里中学校区〕
開 催 日 時	令和4年 5月12日（木） 開会：午後7時00分～9時00分
開 催 場 所	甲州市民文化会館 大ホール
出席の状況	出席者合計：86名 ・学区内：75名（保護者：14名、保護者以外：61名） ・教員等：11名
当局出席者	教育長、教育総務課長、廣瀬L、那須指導主事、岩下指導主事、高石L
説明会次第	（1）開会 （2）教育長あいさつ （3）塩山地域中学校再編に関する説明 （4）質疑応答 （5）閉会
備 考	質疑応答状況は、説明会の状況を簡略にまとめたものです。 ホームページでの公開にあたり、発言者、発言内容及び教育委員会の回答等につきましては、個人が特定されないよう匿名化、読みやすく整理するため発言の趣旨を損ねない程度に省略及び補充をしております。

説明会質疑応答状況

開催日	5月12日（木）[松里中学区]
質問者等	発言内容
発言者① [男性・松里]	説明の中でも人数が少ないというのは現実問題として私も理解しておりますが、市の施策としていかに人を増やすか、移住者を増やすか、そういうことをもうちょっとやって欲しいなっていう、小学生が増えれば当然中学生も増えるという、要するにそう思いますけど、ぜひそういうことをまずやっていただきたいと思うわけです。 再編に関する個人的な考えですが、小中学校は地域のコミュニティの中核にあると私は思っています。小学校、中学校が地域にあるべきだというふうに思います。そういったことで先ほども移住者をいかに少しでも一人でも松里地区に増やすということ、呼んでもらうことができるのかということが大事かと思えます。また、先般松里の定住促進住宅にあっては入居率 38%という、中学校が無くなる。住宅もなくなるなんて言ったら、空っぽの建物が将来残るなんて危惧もちょっとしたくなるような感じではありますし、ぜひそういったことを含めまして、人を呼ぶような施策を積極的にやっていただきたいというように思います。 私は、統合に賛成反対じゃなく、コミュニティに注目して、中学校が必要だと思っています。 個人的な話になりますが、毎日、中学校の裏の道に沿って畑に行くけれども、中学生が部活でランニングし、畑の周りを通るときは「こんにちは」って大きい声であいさつしてくれて気持ちがよく作業がはかどります。そういったことが無くなるのかなという事を考えると涙が出てきます。私はそういう考えで必要だという事を思っています。一つだというのでとりあえず終わります。
事務局	ありがとうございます。要望事項として受け止め、本市におきましても人口減少問題は、市全体を挙げて取り組むべき事案であると考え取り組んでおりますので、そのことをしっかり共有し、今後のまちづくりの活動にも取り組んでいきたいという事を市長部局、全体で取り組んでいきたいと思えます。
発言者② [男性・松里]	資料 13 頁に県内中学校の統廃合の状況を見ますと、小さいところが統合したのかなという事で、松里中学校のような、ちょっと大きい学校が統合したところはないのかなと見ております。それから部活動の問題ですけれども、部活は大人数であればできることもありますけれども、来年度から第三者機関に部活を委託させるという国の方針だそうですが、その辺なんて言うのか、ひとつ聞きたいのが部活も含めて、その辺の対応というか。

事務局	部活動については、本市におきましても国、県の指導等に基づく中で、今後、土日の部活動の地域移行について検討を行い、進めていきたいと考えております。
発言者② [男性・松里]	検討をすすめることはいいのですが、来年度の事なのです。 一番心配になるのは、新聞にもありますが、プラスバンドの検討では、指導者の問題をどうするのか、野球でもサッカーでも、学校に根付いているものを第三者に任せるのか、そういう指導者の問題とか、今から考えていかないと大変なことにならないのかと思いますが、考えていきますという状況ではないと思うのですが、はっきりしたお答えをお願いいたします。
教育長	ご質問ありがとうございます。 確認ですが、来年でしょうか。私が確認した内容は、三年後までに部活動の土日の活動については、外部指導者に移行してということで、まだ、スポーツ庁の有識者会議で、その提言がされたという状況ではなかったかと思います。県教育委員会保健体育課の方に今日確認をしましたが、そのことについては今後取組を進めていくという事で、まずは、県も国のガイドラインが出てきたところで、県のガイドラインをまとめ、それを市町村の方で検討するというような流れで、今後取組を進めていくということを確認しましたけれども、三年後でしたでしょうか、来年度でしたでしょうか
発言者② [男性・松里]	毎日新聞の方には来年度から進めなさいと書いてあります。 国の方がですね、現在やっていることもあるそうです。一番の課題が指導員の確保という事になるようです。そういうことも含めて、令和7年度に合併という中で、指導者の問題はちゃんとできるのかどうか。その保障があるのか。いざ統合したら指導者が集まらない額に部活ができなくなってしまう。それはどうするのだという事ですね。以上です。
事務局	ご指摘いただいた部活動の指導員の確保というのは課題の一つと考えております。 現在本市におきましても、部活動指導員として2名を任用し、塩山中学校と松里中学校でそれぞれ1名勤務しております。 また、昨年度は県の事業も活用し、松里中学校に運動部活動等外部指導者が1名派遣されました。また、それ以外にも各学校におきましては、外部指導員とまではいきませんが、ボランティア等によって部活動をお手伝いいただいている方がおります。そういった方々を活用しつつ、市としましては、クラブチーム等の外部組織と連携が図れるかなど、模索しながら、検討準備を進めて参ります。

発言者③ [男性・松里]	今日出していただいた資料をみますと小規模校というか生徒数が少ない学校のデメリットが書いてあって、これ 2015 年に文部科学省が出した、学校再編の手引きのも同じようなことが書いてあります。で、という事は小規模校というのは全くメリットがないのか、ここに全くメリットのことが書いてないので、そこが気になりました。 1 回に 1 問という事なのでとりあえず、メリットについてはどう考えるのかをお願いします。
教育長	ご質問ありがとうございます。 お話しいただいた小規模校のメリットデメリットにつきましては、私の方で説明させていただいた平成 27 年の文部科学省が出されました、公立学校の適正規模・適正配置に関する指針の中で、お示しがあったと思うのですが、この手引きの中には、今後適正規模の配置するときには、二つ方法がありますよという事が書かれております。一つは統合、地域の学校を統合していくという考え方、もう一つは、小規模校はそのまま存続させていって魅力ある学校づくりを行うという、二つの選択が書かれております。 文部科学省が示したのは、統合した場合のメリットとデメリットが両方書いてあります。そして小規模校を存続し魅力ある学校づくりを進める上でも、メリットとデメリットが提示されておりますので、その様な確認をしていただければありがたいと思います。決して小規模校のデメリットのみ提示しているわけではありません。今日の資料におきましては、掲載がしておらず、ご指摘のとおりでメリットが強調されていた部分は、今後きちんと訂正をさせていただきます。誤解を与えるような形になってしまい、本当に申し訳ございませんでしたが、小規模校がデメリットばかりあるわけではございませんので、現に今も松里中学校、塩山北中学校におきまして、現在本当に子供たちが頑張っておりますし、学習においても部活動においても活躍をしておりますので、決して小規模校にデメリットばかりがあることを、私たちは強調しているわけではございませんので、そこは訂正をさせていただいて、ご理解をお願いしたいと思います。
発言者③ [男性・松里]	こういうものが文字として出てしまいますと結局これを見るわけですよ。今の教育長の説明を地域の人がみんな聞いているわけではないので、ですから片手落ちだというふうに、いい点と悪い点を提示してさあ皆さんどうですかと聞いたほうがフェアだなと思っています。
事務局	ありがとうございました。 今後の資料作成の上でそういったものが提示させることができるよう検討してまいります。今回は、大変申し訳ございませんでした。

発言者④ [男性・松里]	私が公立中学校の山梨県の状況を細かく調べてみたのですが、本年度松里中学校は全校生徒 104 名ということで、山梨県全体公立中学校 81 校、分校を除いてね。そのうち 18 校が松里中学校より人数が少ない。約四分の一、それから、最低二クラスを目標としているという山梨県の指標の中で、松里中学校と同じ全校で三クラス以下の学校が 81 校の中で 21 校あります。まあ、だいたい 26%、それからさらに一番の基本である学校教育基本法に定める中学校の標準学級数 12 から 18 学級、これが法律上ですね、現実ですね国の指針に基づいて、一番考えるべき学級数だと思うんですが、これでいくと全体で 27 市町村の中で 24 市町村が全校 11 クラス以下という、小規模校以下の中学校を抱えているといったことで、それらのなかで今、学校の再編に向けて取り組んでいると承知しているのが、甲州市は当然のこと、あとは北杜市、中学校の再編を先送りしたとして、現在再検討を行っている富士川町、その三市町については承知しておりますが、それ以外の市町村も同様の課題を抱えていると思うのですが、他の市町村の取り組みはご存じでしょうか
事務局	私共、この再編の審議を進めるにあたりまして、北杜市に視察研修をさせていただきました。それ以外のところで富士川町とも何度か情報のやり取りをしたことがございます。それ以外の市町村の学校再編についての情報は存じ上げておりません。
発言者④ [男性・松里]	ありがとうございました。 誠に申し訳ございませんが、ついでにもう一点だけ、今回の統合で塩山北中は本年度 48 人で、松里中学校は 104 人で、倍以上の生徒を抱えているのですよね。それを一緒にたに統合というひとくくりで検討されるのは、いかがなものかなと、もう少し地域の実情とか、子どもの通学路とか、住民の意向とかを幅広く検討した中で、そういう判断をしていただきたいと思います。以上です。
事務局 [高石]	資料 16 頁をご覧ください。市立中学校の教職員数につきましては、お話にもありました標準学級数を基に配置人数が定められております。確かに松里中学校と塩山北中学校では、生徒数に大幅な差がありますが、学級数はそれぞれ三学級であることから塩山北中学校と松里中学校の教職員数は同じ人数となっております。また、確かに再編を進める中では、通学距離の長さであるとか、条件により変わってくることがございますので、そういったことを鑑みながら進めていきたいと考えております。また、ご要望として承らせていただきます。
発言者⑤ [女性・松里]	統合については、質問がいくつかあるのですが、質問は一つだけという事なので絞らせていただきますが、その前に一つだけどうしても聞かせ

保護者]	ていただきたいことがございますので聞かせてください。それは、教育長による公開パワハラについてです。塩山北中学区の保護者を対象とした説明会において、今いらっしゃるそのステージ上において、教育長が教育総務課長を数分間、すごい勢いでどなりつづけるという公開パワハラがあったという事を聞いています。これに対して塩北学区の保護者に対しては、わび状を出したと聞いていますが、その他わたしたちの学区の保護者に対しては、何の説明もなく、私たちとしてはパワハラ教育長らしいよという噂話となって伝わっており、真偽が隠されております。この件に関して、この話の真偽の程、また、それが本当であればなぜ、それが起こったのか、そして、それを私たちに教えてもらえなかったのはなぜなのか、隠していたのかという事をまとめてお伺いできればと思います。
教育長	ご指摘の方がとうございました。 これは、今ご指摘いただいたとおりであります。大変申し訳ございませんでした。このことを皆様方にきちんとご説明し、お詫びをしなければならないところでしたが、本当に私が塩山北中学校区の説明会におきましては、課長の保護者からの事前質問に対する答弁の内容に対し感情的になり、大きな声を出して発言の訂正を求めたことは事実でございます。大変申し訳ございませんでした。 それからその説明とお詫びが今になってしまったことにつきましても、お詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。
事務局 [課長]	補足で、私の方からお話をさせていただきます。 その時に教育長が感情的に大声で発言した（怒った）ことにつきましては、今、教育長が申し上げたとおり事実ではありますが、そこに至る経過原因につきましては、事前に打ち合わせした内容と違う内容を私の方で答弁したことにあります。学校現場と調整がされていない中で、私の方で先走って説明をしてしまったことに対しての教育長の対応でございます。私としては、パワハラには、該当しないと認識していますので、そこはご了承いただきたいと思います。
発言者⑤ [女性・松里 保護者]	ご回答ありがとうございます。 今のようにステージ上で長い時間、怒鳴り続ける様子を保護者の方は、見せ続けられた状況だったと聞いています。教育長が公衆の面前でそういうことをなさるという事に対しては、保護者として、正直、不信感しかございません。万が一統合されたとき、子どもたちがいろんなストレスを抱えると思いますが、教育委員会のトップの方がそのような方であれば、それに対する丁寧なケア、まじめな対応が望めるべきものでないと感じてします。また、課長本人がパワハラではないというふうに思われているようですが、周りから見てあの教育長はと不信感につながった

事務局	ことは確かではないかと考えています。さらに教育総務課長さんの方から、打ち合わせしてない内容を口走ってしまったという事ですが、そもそも打ち合わせしてないような内容のたくさんあるグダグダな統合の進め方がある自体にも不信感があります。今回の件に関しては、いろいろな人から不信感を向けられているという事をご理解いただければと思います。 続いて統合に関する質問を一つだけに絞った形でさせていただきます。それは統合の目的が本当に子どもたちのためなのか、金ではないのかという事です。 コロナでいろいろな説明会が実施できなかったり、また、通学に関してとか、制服の事であるとか様々なことで具体的な内容がほとんど決まっていない状況と理解しております。それにあっても、市は令和7年4月ということにこだわっているような感じがいたします これについて前回の3月議会の対応も踏まえて、統合の本当の狙いは塩山中学の既にぼろい校舎を改修するための補助金をゲットすること、すなわち金目的ではないかと思いますがいかがでしょうか。実際に市では今年度の予算に塩山中の改修のための設計費用を計上していると聞いています。これはつまり、令和5年、6年に大規模改修をやるという、これまで保護者向けに配られていた説明資料の中にあったように令和7年4月の統合予定で行くという意思の表れかだと思います。しかし、この大規模改修というのは、大規模という名のとおりにかなりのお金のかかるものであることがうかがえます。そんなお金を市はどこから用意するのでしょうか。ふつう無理じゃないですか。だからこそ統合すると貰える国の補助金をゲットするためこのタイミングで統合したいという事ではないのでしょうか。子どもたちのためとはむしろ建前で、実のところ改修のための金のための統合、しかも塩中の改修のために松中が犠牲になるとでもいうような統合に感じてしまうのです。これについて大規模改修とゆうのはどれくらい金がかかるもので、それに対して国の補助金をもらう予定があるのか、であればその令和7年4月を変えられない理由は、やはり補助金ではないのか、そのことを答えていただきたいと思います 只今ご質問いただきました補助金の件につきまして、まず、私共は事業を進める上で、何か補助金が活用できないか探します。事業を行う上では予算が必要となってきますので、当然そういった準備行為をして、県に要望を出すなどしていかなければならない、これは私たちの職務、責務だとも思っております。今、おっしゃった金が目当てではないかというのは、ちょっと語弊があるかという気がします。お金のために再編という事は、ここにいる職員は微塵も思っておりません。そこはちょっと誤解をされているようなので、強く否定をさせていただきます。お金のために統合と言うことは全く考えておりません。
-----	---

発言者⑤ 〔女性・松里 保護者〕	補助金を受けるためには、文部科学省へ県を通して申請をしなければなりませんので、その手続きは行っております。金額についても、塩山中学校の面積と、前回、勝沼中学校の改修の設計をしておりますので、その面積で積算をしています。これは、県から来年度の学校施設の整備計画を行う上で、可能性があるものについてはすべて計上するようにとの依頼がきておりますので、再編を私共は見据えておりますので、当然、要望はしていかなければならないと考えております。 金額ですけれども、年度毎の上限が2億円となっております。2年かけて改修を行って参りますので、満額で補助金を受けるとするならば、4億円の経費が掛かるということとなります。当然、市としてそれだけの財源を準備するのは難しいという事から補助金を活用する。それ以外には地方債というものが有ります。地方債というのは、いわゆる借金になりますが、借り入れて行っていく予定でおります。それはあくまでも、まだ準備段階の話でありまして、統合ありきの話ではありません。その辺は十分ご理解いただきたいと思います。 ご回答ありがとうございます。 補助金を受ければ、マックスで億単位の事業になる事は理解できました。でも、補助金は貰うつもりで準備を進めている事も理解できました。この補助金というのは当然先程の話でもちらほら出てきましたが、統合するから貰うという補助金、つまり、補助金をもらうためには、マックス2億円、合計4億円の補助金という補助額をゲットするためには、統合が条件になっているかと思います。これまでの話を聞いて、統合を急ぐのには、やっぱり工事をやりたいからなんじゃないかと思ってしまう。さらに統合ありきの工事ではない、ということであれば、わざわざ令和7年4月に統合するという事ではなく、統合と工事を切り離すことができるのではないかと思います。そもそも議会の討議の中で、塩中の改修については、統合するかどうかに関わらず、けっこうぼろいのでやらなければいけないんだという話が出ていたかと思います。であれば、中学校の改修、塩中の生徒のための改修、塩山中の改修についてはそれはそれで粛々と進めていただいて、ただ、そこに統合を必要とする補助金を当て込もうと考えるのではなく、 いまこの状態でほぼ何も決まっていない、統合をやりたいという市の意向しか見えてこない、地域に関してはこれが初めての説明会というような状況を差し置いて、一生懸命そこに統合を持ってくるのは、違うんじゃないかと思います。そんなに塩中がぼろくて改修をしたいのであれば、改修は改修、松中の統合に関しては地域と対話、地域との調整、地域がどう考えるのかという相互のやり取りをこれからひざ詰めに行って、むしろ今から、一から始めるというレベルなのではないかと考えています。これに関して学校の改修と、また統合の話とをある意味切り分けて考えることができるのではないかと思いますがいかがでしょうか。
---------------------------------	--

事務局	お手元の資料 18 頁をお願いいたします。18 ページ下段になりますが、現在の学校施設の状況となります。塩山地域におきましては、先ほど塩山中学がぼろいというお話がありましたが、塩山中学に限らず、塩山北中、松里中学もそれぞれ建築年度が昭和 40～50 年代であり、建築から 40 年から 50 年が経過しております。いずれの学校も大規模改修が必要な時期を迎えているというのは事実でございます。一方、先ほど見ていただいたとおり、資料の 30 頁を見ていただいたとおり、現時点では、松里中学においても 104 名の生徒がおりますが、今後、児童生徒数を見据える中で減少傾向が続いており、今予測される最も先の令和 15 年度には、現在から 4 割近い生徒数の減少が見込まれております。施設の維持管理は生徒の安全を守るために大変重要なものと思っております。これまでの再編の協議の中でも重要視されておりました。ただ、今回の再編は補助金ありきのものではなく、何度かこちらでも説明させていただいたとおり、G I G A スクールの導入や、新しい学習指導要領による新しい学びが必要となってきたこと、また人口減少の問題、施設の維持に関する課題など、こういったものをすべて加味した中で、私共、教育委員会は、それぞれ、その時にいる子どもたちに、よりベストな教育環境を提供していかなければならないとの考え、今回の再編の方針となりました。お金目的という話が出ておりますが、今回再編をいたしました勝沼中学校、大和中学校におきましては、再編後の子どもたちの安全な通学手段の確保のためスクールタクシーの導入など考えた中で、施設の維持管理の経費は減っておりますが、全体経費では決して安くなってはおりません。そのこと踏まえた中で、あくまで私共教育委員会としましては、子どもたちの環境を考えているものであり、決してお金が、財政的な部分が目的ではないという事だけのご理解をいただきたいと思ます。よろしくお願いいたします。
発言者⑤ [女性・松里 保護者]	お金目的の統合ではないという事は承知いたしました。ただ、先ほどから塩中の改修と統合の話を切り分けて考えたらどうですかという話には、明確には回答いただいてないのでそこをご返答ください。
事務局	塩山地域の中学校再編を考えたときに、現在の学校規模、学校施設を考えると現在の塩山中学校であれば、令和 7 年度であれば、その時の生徒数見込みの中で、大規模改造を行うことで、十分、塩山地域の児童生徒が集まっても対応できるだけの教室数を確保できるという事から、再編においては新たな学校を建築する等の経費をかけることなく、今ある中で効率的にできるよう、既存の塩山中学校の施設を活用していくことがよりベストな選択ではないかという方針で、こちらの方としては打ち出させていただきました。やはり、再編に伴い学級数が増えたりすること、それに対応するためにはある程度の学校施設が必要とのことから、現在

	の教室数等考えて中で塩山中学校施設を活用することが適当ということで再編の方針の一つとして入れさせていただいたところであります。よろしくお願いいたします。
発言者⑤ 〔女性・松里 保護者〕	今の回答をまとめると、令和7年4月に統合するというのは、これまでコロナの中で説明会を開催できなかった等々状況をかんがみても変えるつもりはないという事でしょうか。
事務局 〔高石 L〕	現在、私共といたしましては、令和7年4月の統合を目指して、皆様方、保護者の皆様や地域の皆様に説明を重ねる中で進めていきたいと考えております。
発言者⑤ 〔女性・松里 保護者〕	統合ありきではないと言いながら、統合に突き進んでいるさまは、全く話がかみ合わないと思います。では、長くなりましたので私の方からは以上とさせていただきます。ただ、今回、ひとり一問という制限をされてしまったので、なかなか質問できなかった内容がたくさんあるかと思っています。今後、同じような説明会を何度も開催したり、一人一問などという制限を設けずにかけたりせず、いろいろな方の意見やいろいろな方の意見に耳を傾けていただける機会をぜひ作ると約束していただきたいのですが、最後にそれだけお願いいたします。
事務局 〔高石 L〕	今回、限られた時間の中で大勢の皆様の意見、質問をお聞きする機会を作りたく、1回一問というお願いをさせていただきました。また、多くの皆様のご意見を聞ける機会をつくれるよう、検討いたします。
発言者⑥ 〔男性・松里〕	質問は一つだけという事ですので、その前に感想を述べさせていただきます。教育委員会のやり方について、今日いろんな意見がありましたけれども、本当に大丈夫かなと思っているいくつかのことがあります。一つは12月にやったPTAの会議でいろんな質問が出ているはずですよ。今日でてきていらっしゃると思うのですが、保護者の方が出てきているわけですよ、そういう人たちに対して、その時の質問の中身に答えを、ほとんど答えていないじゃないかと、一番気になっているのが通学路の安全の問題、スクールバスの問題ですね。スクールバスを松里は一体出してくれるのか、出してくれないのかですね。最終的な何時になるのかですね。それから登下校の間には何本出してくれるのか、そういうことについての具体的な話が一切ないという事ですね、ですから、という面がまずひとつ、二つ目はですね、令和6年松里中学校2年生が、令和7年4月には塩山中学校3年生になる。そういう計画ですよ。松里中学校の2年生が、塩山中学校の3年生になるので、精神的な不安感、進学を志している中で、精神的な安定性について考えてくれてないんじゃないかっていうことだと思うのです。ふつうは、こういう組織を変え

ていくときは、新しく 1 年生の方からやっていくというのが普通のやり方だと思うんですよね。それを何でこんな風にやるのかという事ですよ。三つめは、塩山中学校に統合するという事で、なんで、塩山中学校の校則、校名、校歌なんでそういうものを残すんですか。松里中学校は塩山中学校に統合されるんですかという事です。それが何でそういうことを言うのかという事です。松里中学校の生徒から見ると塩山中学校に統合されたという事で非常に劣等意識というのですかね、そういうものを持たされる。それはいじめに必ずつながってきます。ですからそういうことに対して、どういう対応をとるか、なんでわざわざ塩山中学校というものを残すのか、普通統合するときには、学校名も変えて、校則も校歌も全部変えて、制服も変えてやるのが普通だと思うんですけれども、それをあえてやらないという事はですね、どういうことなのかという事だと思うんです。そういう面ですね、教育委員会のやり方というのは、ものすごい荒っぽいやり方だなと、もっと時間をかけてですね、いろんな人から話を聞いてですね。それで納得しながらやっていかなければならないんじゃないかという問題だと思うんですが、どうしてそうなったかという事これは答えてもらう必要はございません。感想です。

質問は一つあります。なんで松里中学校は令和 7 年に統合されなきゃいけないんですかという事です。大体 100 名規模でやっているのは、先ほどもそういう質問がありましたけれども、県内でもいっぱい 100 名規模の学校が統合されていないで頑張っているという事がわかっているんですよ、先ほど小林教育長からも松里中学校非常によくやっている。いい校風だと言っておられましたよね。私も全くそう思います。松里中学校の卒業生は、いろんなところで活躍して頑張っているわけがありますよね。それは、やっぱり今まで築いてきた校風が、そういう生徒たちを教育してきた、校風が教育してきたわけがあります。そういう学校を何でなくさなきゃいけないんですか。教育委員会の議事録を見ますと、教育委員会の一番初めの統合の話をした時には令和 14 年という松里中学校統合は、令和 14 年くらいになると生徒数が 60 名くらいだったんじゃないかなと思っているのですが、それがいつの間にか、令和 7 年になってですね。令和 7 年っていうのは何かっていうと、大和中学校の統合に引っ張られちゃっているんですよ。松里中学校の統合の問題じゃないんですよ。大和中学校の統合の問題に、松里中学校の統合が引っ張られちゃっているという事なんだと思うんです。我々地元の間はですね。中学校がなくなるという事はどういうことかと言いますと、地域がまさに減退していくと、これは明らかです。若い人たちはもう中学が無いところには入ってきません。中学が無いところには入ってこないという事はどういうことかという、小学校もなくなっていくんですよ。子どもがいなくなるから、そうすると松里中学校だけでなく、井尻小もなくなるこういう状況が見えてきているわけですよ。そういう

事務局	時になんで今やらなければいけないのか、という事だと思うんです。ですから、なぜ令和7年なんだろうと、明快な答えをお伺いしないと住民として納得できないんじゃないかとこんな具合に思います。よろしくお願いいたします。 ありがとうございました。 先程、教育委員会の会議録を見ていただいた中で、1回目には令和14年の統合という話があったかと思いますが、教育委員会で協議する中で、人口、児童生徒数の減少を一つ、学校施設を一つ、また、それ以外の教育環境という項目毎に協議を重ねた中で、確かに、生徒数を基に検討したときには令和14年度、その後、施設や視察等を重ねた中で最終的な判断として、令和7年4月の統合を見据えた形での方針が定まった経過がございます。今回の再編については、子どもたちの教育環境の改善にあります。先ほどから何度も話させていただいたとおり、GIGAスクール構想が始まりました一人一台端末が配備されました。新学習指導要領となり新しい学びが始まった中では、現在の100名単位での松里中学校でも工夫を行った中で授業を行っていかねばならない。甲州市の子どもたちとして、未来を将来に出ていかねばならない中で、塩山地域において、それぞれの学校、塩山中学校、塩山北中学校、松里中学校それぞれの中で、教育環境の違いがある状況の中であれば、よりよい教育環境へと改善を目指すべきということが私ども使命という中で、再編の方針というかたちとなりました。先ほどの教育長の話にもありました、文部科学省では今後10年を見据えた新学習指導要領では、AIなど新しい環境の中でも活躍できる人づくりを目指しております。それに応えて教育環境をつくっていくのが教育委員会の使命ということから、令和7年4月の統合を目指すべきとの方針を出したところであります。よろしくお願いいたします。
発言者⑥ [男性・松里]	今の答えだとどうしても納得できないことがありまして、要するに切磋琢磨とか社会性を教育するためになんで統合が必要なんですか。こういうことなんです。要するに、今この時代の中にですね、教育長も言ってますよね、ソサエティ5.0とか世界が変わってくるとか、要するにデジタル技術をどんどん使える中に合って、なんでみんなが一緒に集まらないと、そういう切磋琢磨ができないのかという事だと思うんですよね。もちろん、個人個人の人が、バラバラにいたらだめですよ。それはわかります。だけどそれはいつも一緒にいなければいけないという事ではないという、それは工夫の問題なんです。どういう工夫をして、松里中学を残していくのかという事をですね、もっともっと考えていかないと、ただ人が減ったから統合するんだという考え方は、少し納得できないんじゃないかと、地域の方は、そういうことだと思うんです。学校がなくなれば若い人が入ってこなくなるわけですから、加速度的に人

教育長	口が減ってきます。松里がなくなるというくらいの危機感を私共は持っているんですよね。ですからそういう点をよく鑑みていただいて、いろいろな方法を進めていただけたらと思います。 ありがとうございます。 本当、冒頭に申し上げましたが、全国的にこの適正規模に関わりましては、全国的に適正規模について市町村で論議が行われていることは、事実でございます。それぞれ、自治体によって、実情が違うという事がありますので、甲州市において今の現状、過去の状況、そしてこれからの状況を考えたときに、甲州市立の小中学校の適正規模をどう考えていったらいいかという事が、これまで審議会におきましても、教育委員会におきましても、さらには、市長も入りました総合教育会議におきましても話がされてきた中で、最終的にでてきたことが、1 学年を 2 学級以上で全 6 学級以上の中学校に再編していったらどうかという方法を選択しようとして、この選択について、皆様方にご提案をし、ご理解がいただけたら進めていこうというのが教育委員会の考え方であります。目指してという言い方が統合ありきではありますが、この報告書がまとめた時点では 5 年以内という表現がされています。令和 2 年の段階において 5 年以内という事でありますので、これが令和 7 年 4 月 1 日という事で、それを見据えて、皆様方にご説明をし、ご理解をいただく中で中学の再編を進めていくという提案をさせていただいているというふうにご理解をいただけたらありがたいかと。今日いただきましたご質問等の内容につきましては、私共もきちんと受け止めさせていただきまして、また機会を設けさせていただけたらと思います。選択はいろいろあります。今言われたように小規模校のまま存続させていって、それで将来子どもたちが大きくなっていった時にきちんと生き抜いていけるのかどうか、10 年後、20 年後大人になった時に、きちんとこの激しい社会変化の中を子どもたちが生き抜いていけるだけの資質能力をきちんと育成ができるのかどうか、そのためには、こういった選択をしていったらいいのかという事を、やっぱり全体で考えていかなければいけないのではないかと、十分に思っています。 私も松里中の卒業生であります。このことについては私なりの想いがございますが。子どもたちが、将来の子どもたちが学校で学ぶという事、そして社会の中を生き抜いていくにはどうしたらよいのかという事で、適正規模という事を提案させていただいたという事であります。
発言者⑦ [男性・松里]	19 頁のアンケートの事ですけれども、このアンケートは誰が考えてしたんでしょうか。このアンケートを見ると「統廃合を避けるべき」これはわかりますね、「小規模校は積極的に統合すべき」。これは積極的にと言う言葉が何で入っているか、そこがそもそもわかりませんが、そのどっちかなんですよね。なぜここにグレーゾーンの「小規模校が統合され

	るのはやむを得ない」というのを入れているのか、これが私には理解できないのです。ここにだいたいの人がいってしまうんですね。このグレーゾーンに入れた人は、大体これを見るとちょっと賛成の人はここに入れてしまう。このようないい加減な、ある意味取引的なアンケートを、もっと言うとマイナス的なアンケートをどうしてとったのかそこを聞きたいです なぜかというアンケートが一番重要なものであるから、それは一人一人の市民の意見ですから、これをもとにして、こういういい加減なアンケートを基にしてやるのは非常に困ります。
事務局	資料につきましては、アンケートの結果のみ提示させていただきましたが、このアンケートを行う時に、その時点での考えられる児童生徒数の推移の将来予測と、国の掲げる標準学級数等を提示したうえで、実施いたしましたものです。質問事項につきましては、協議する中で決めたものがありますので、今手元に資料がありませんので明確な経緯までもお答えをすることができませんが、ただ、このアンケートだけを出して、さあどうですかというかたちではなく、これを考えるのにあるべき情報を出した中で、回答していただいたものと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
発言者⑦ [男性・松里]	今後しっかりとしたアンケートをもう一度制作して、しっかりと保護者の方に説明した上で黒白はっきりしたアンケートを作成して実施していただくことを要望いたします。
事務局	ご要望として、承らせていただきます。